

今年は宮ヶ瀬ダムからの高取山・南山登山の予定でしたが熊が頻繁にでるということで、猿島ハイキングに変更になりました。11月に入つてからの急な変更ではあります。が、仲間たちは皆動搖することなく受け入れてくれました。

ハイキング当日はあまり天候に恵まれず曇り時々雨でしたが傘をさすほどの雨が降らなかつたこともあります。皆嫌がらずにしっかりと歩いてくれました。

フェリー待ちの間、山田さんは三笠ターミナルで展示資料を見ていましたが他の二人は興味がなかったようであまりみることはありませんでした。フェリーに乗つてから猿島に着くまでは10分ということでしたが5~6分程度で付いた感じがしました。三人ともフェリーの上では船の二階にいき潮風受け周りの景色を楽しんでいました。猿島に着いてからは色々遺構を見て回りましたが、ちゃんと興味を持つていたのは



猿島ハイキング

山田さんだけでした。たまたま近くにいたツアーガイドさんに砲台跡の話を聞き、その後別の場所で同じような跡を見つけた時に「これは砲台の跡だな」というようなことを言つてました。戸栗さんはトンネルを通るのを楽しみ、また島からアクアライン、房総半島、富士山等いろいろな景色を楽しんでいました。前田さんも笑顔が見られ楽しんでいた様でした。帰りのフェリーは行きと違い風が強かつたですが三人とも二階に行き強風の中を気にすることなく楽しんでいました。その後の昼食、記念撮影、お土産買いも三人とも楽しんでいました。

今回、船に乗るというめったにない体験がありましたが、皆臆することなく乗る事ができ、事件・事故無く終われたのは大きな成果だと思います。これからも色々な体験ができるような旅行が出来たらよいと思いました。

稗原農園 吉武



【次号予告】
はぐるまだより次号は3月末の発行予定です。どうぞご期待ください。

はぐるまだより

仲間実行委員 紹介

はぐるまだより
No.129
2025年12月19日 発行
社会福祉法人
はぐるまの会
広報部会
川崎市多摩区菅馬場
1-19-24
044-946-1308

委員長 大沼 至朗さん

当団は実行委員長であり、稗原に住む仲間代表として稗原自治会のみなさんと、豚汁販売に参加しました。実行委員のまとめの会で、「地域の人と交流して豚汁をたくさん販売できた」と報告してくれました。

副実行委員長・食事係 林 まゆみさん

当団は大沼さんと同じく、仲間代表としてゆづカフェのみなさんと、ドリンク販売に参加しました。「しっかりとつながりを持つことができました。また、食事係として仲間全員のお昼を食べたかの、確認も担当していました。

副実行委員長・丸山 勝彦さん

当団は収穫体験や太鼓クラブに参加しました。収穫祭が終わつてからは、ともに稗原に暮らす仲間とともに交流会に参加し、地域の人たちとかかわりを持つことができました。「来年もまた実行委員をやりたい」と話していました。

稗原農園 収穫祭

2025年11月3日(月・祝)天候にも恵まれ、「収穫祭」を開催しました。当団はご家族の皆様や和太鼓里空・稗原自治会・青年会を筆頭に、多くの地域の方々からのご協力を頂き、1日を終えることが出来ました。誠にありがとうございました。



書記・司会補佐 山田 俊輔さん
当団は司会補佐として1日仲間の補佐を担当しました。昼食の焼きそばを楽しみにしていたそうです。「ホワイトボードへ記入することは出来ていたと思う。また挑戦したい」と、実行委員会会議中に書記として板書したことを、自信をもつて話してくれました。

司会 高橋 久典さん
当団は1日司会を担当しました。山田さんと共同してやりきることが出来ました。「司会が上手く出来た。また来年もやりたい」と話していました。

今年取り組んだこと

収穫祭

『はぐるまを知らない人にも来てもらい、交流を深めよう』という目標を掲げ、特に『交流を深めよう』にフォーカスし、収穫祭委員会がスタートしました。

① 収穫祭開催前に、『関係者打ち合わせ』の時間を作る
会議の中で仲間たちが、「これまで収穫祭の日に手伝ってくれていた人・団体の名前が思い出せない」ということが分かり、「顔合わせの時間』を作る事で、自己紹介をし、仲間たちの言葉で、よろしくお願いしますと伝える場作りをしました。

② 収穫祭後の反省会に仲間の参加要請を出す
毎年片付けが終わり、夕暮れのころに反省会を行っています。数年ぶりに、実行委員・あおばみどりの仲間・事務局に仲間代表として、参加要請をしました。仲間たちから、協力してくれた皆様へのありがとう、これからもよろしくお願いしますを伝える場を設けました。

まとめ

今年の収穫祭も、たくさんの方にご協力いただきありがとうございました。仲間たちと会議を繰り返す中で、稗原の事を仲間たちともっと話す時間が必要だと感じました。収穫祭だけでなく、日常の中で仲間たちともっと地域について語り合い、来年はより良い収穫祭にしたいと思います。

稗原農園 斎藤



2025年10月から
新しい仲間が加わりました！！
少し恥ずかしがり屋ですが、
かふえで仕事をがんばっています。

2025年10月に入った新しい仲間



② 相談支援の分科会に参加。全国の相談支援専門員とグループワークを行った。

テーマは「あつたらしいなこんな地域」自分の地域に足りない、または必要なサービスについて話し合った。話し合った結果様々な地方都市の現状を知り、川崎市は恵まれているということを知った。「事業所やサービスが充実していて、選択肢がある」と。それが、当たり前ではないことを知った。生まれた場所で格差が存在する。はじめてきょうされたんの全国大会に参加し

防犯訓練を行いました

10月15日



いります。不審者対応の初動はまず通報をし、警備員が駆け付けるまでの間、避難を優先に対応する事、危害が及びそうな場合は「刺股」の使用を複数人で対峙する事などの実施訓練でした。

刺股を実際使ってみて、即座に使うための技術や腕力(特に女性)がなければ難しいことがわからましたが、コツは理解できたように思います。

このような訓練が必要になつた世の中を憂いながら、安全安心な施設でありたいと思ひます。

理事長 高木

実際に不審者が侵入した際に、どのように対処すれば、利用者や職員の安全が確保できるのか、不審者と対峙した場合の、防犯グッズ(刺股(さす)股(また))の使用方法を警備会社アルソックから講師を招いて訓練をしました。アルソックはみなばが契約している警備会社で、緊急時は非常用ボタンで通報がいくよになつて

